

(第2号様式)

知念第2383号
令和5年3月20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立知念学校
校長 仲宗根 勝
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月19日	場所	書面	出席状況	5名
第2回	日時	令和4年12月20日	場所	本校校長室	出席状況	3名
第3回	日時	令和5年3月17日	場所	本校校長室	出席状況	3名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校の現状と課題に対する意見。
- ②進路指導に関する意見。
- ③生徒指導に関する意見。
- ④学校評価に関する意見。
- ⑤その他学校の教育活動に関する意見。

3 学校評議員の意見

- ①国公立大学進学が44名は快挙である。
- ②小中学校はトイレの洋式化が進んでいる。高校も順次対応して頂きたい。
- ③卒業式の在校生によるサンドアートの記事に感銘を受けました。
- ④「海外留学」が、この4年間一人もいません。広く世界に関心を持ち、世界で活躍することに挑戦する意欲を持つ生徒の育成指導に、なお一層頑張ってください。
- ⑤学校だよりを毎回確認させて頂いている。とてもわかりやすく、生徒の取り組みや活動が伝わる内容となっている。
- ⑥生徒会活動に関して、116名の生徒が生徒会執行部に関わっている事は、目を見張るものがあります。知念高校の伝統が、後輩たちに脈々と引き継がれていることを誇りに思います。

4 学校運営に反映した事項

- ①進路指導の取り組みは、今年度の成果と課題を明確にして次年度に繋いでいく。
- ②トイレの洋式化については、県の担当課で計画的に改善を進めている。
- ③今年度は、コロナ禍で延期になっていた「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」への参加が実現できた。
- ④生徒会活動に関して、伝統的に生徒みずからが生徒会執行部に関わっている。今後も後輩たちに引き継がれるようにサポートしていく。

5 課題その他

- ①生徒のSNSの取扱いについては、教師側も研究を進め、効果的な指導内容・方法に取り組む必要がある。
- ②学校行事の精選については、今後も継続して取り組む必要がある。
- ③生徒の家庭学習の習慣化についても本校の最も大きな課題であり、教師一人ひとりが日頃の授業改善と関連させながら取り組む必要がある。
- ④登下校の際(特に自転車通学時)の交通安全指導について、これまで以上の徹底した取り組みが必要である。